

SAGA KOUSEI

Case A

80歳、女性。

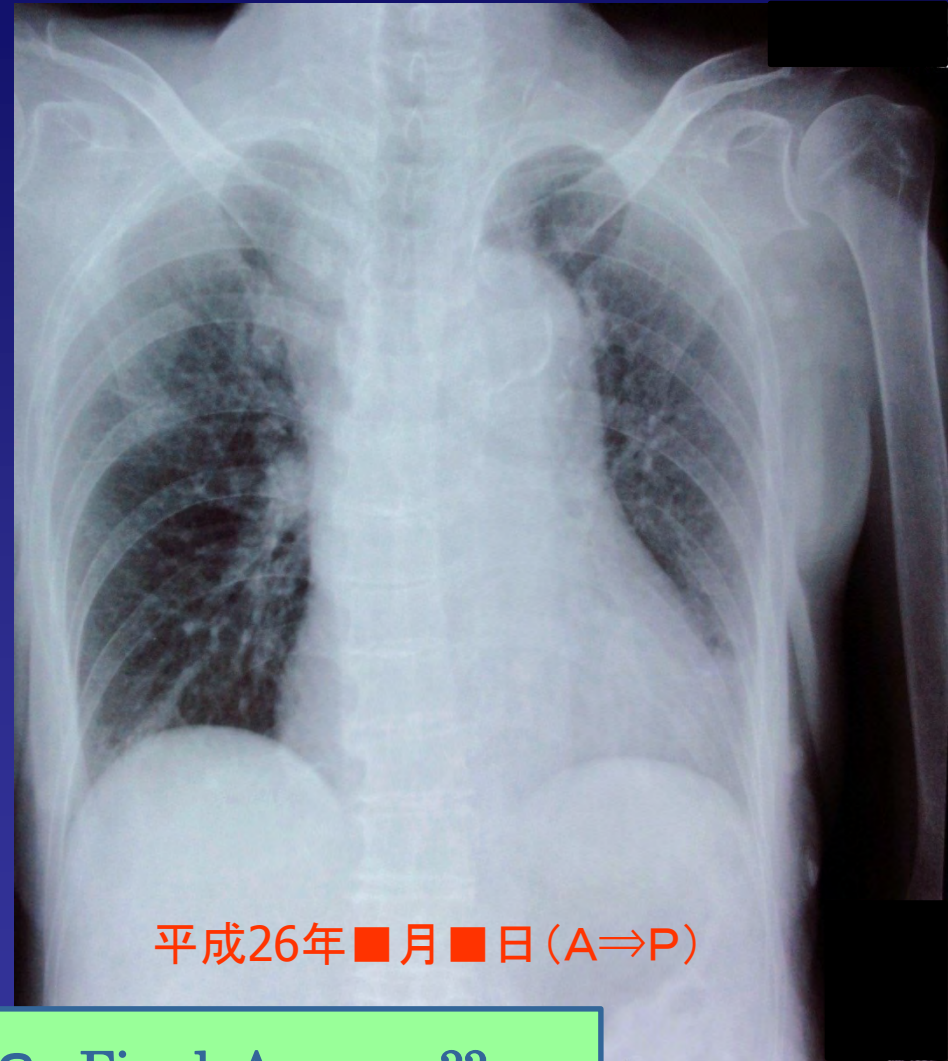
左肩が痛くて動かない、
脱臼したんじゃないか？
との訴えで、walk-in で
当院ERを受診した。

研修医はレントゲンを
撮り(左図)、「左肩の
脱臼はないですね、
ロキソニン処方して
明日、整形外科外来
受診でいいですか？」
と、念のため 管理当直
にコンサルトがあった。

このレントゲンからわか
る診断名は？ どの
科にコンサルトすべき？

次なる検査項目は？

実は、この患者さんは、7ヶ月前に内科
外来を受診し、胸部X-p を撮っていた！

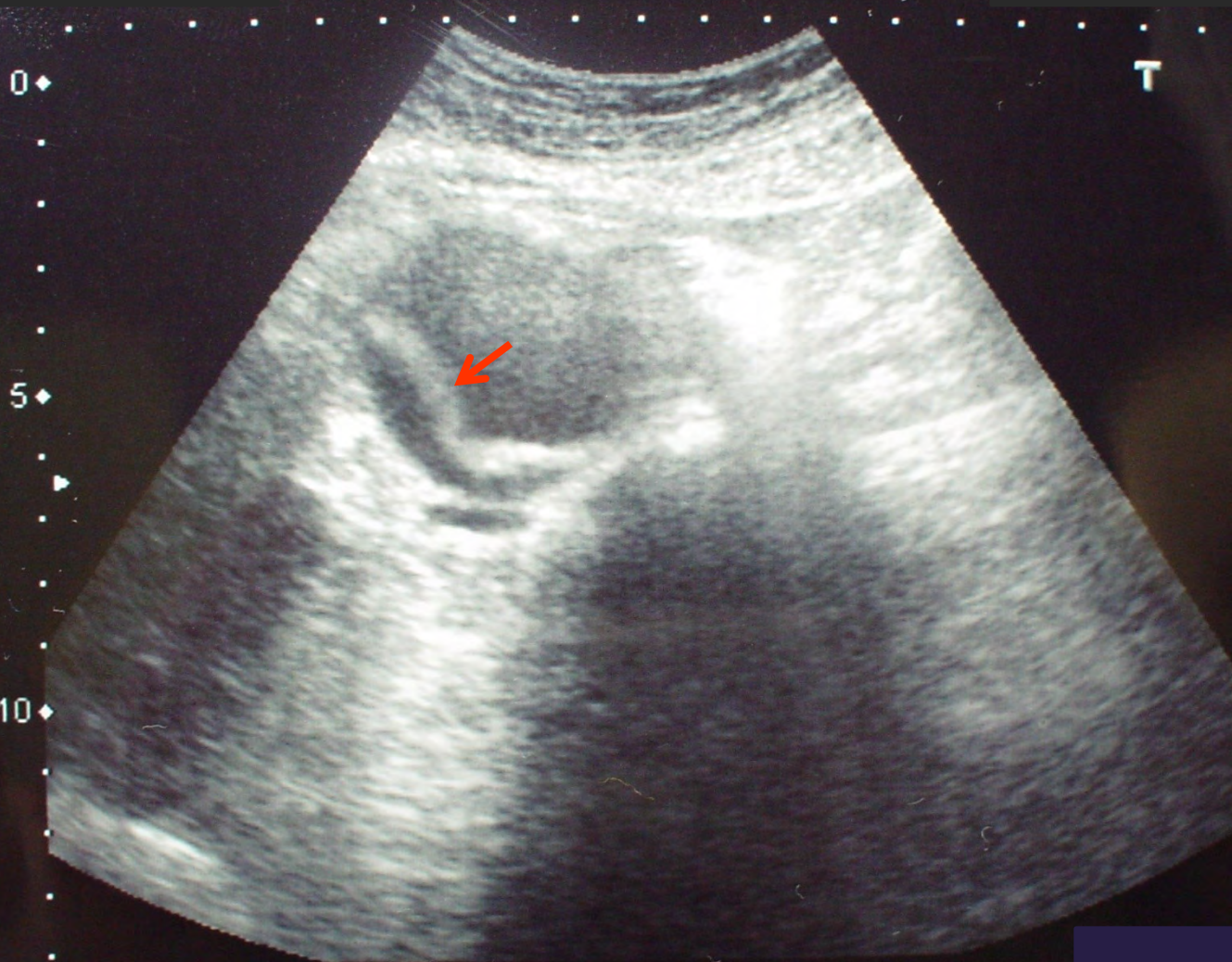


あなたの臨床診断は？ Final Answer ??

エコーの重要性： 胸写⇒CT間にできる検査

HOSPITAL KOUSEIKAN

ABDOMEN



日常のERで遭遇する「尖神」胸部違和感」
腹痛」などの症状を訴える患者の中から、
まれではあるが緊急性の高い疾患を見出す

腹部エコーによる *intimal flap* の描出

5

Case B 55歳、女性 主訴と現病歴

患者氏名: [redacted]

[redacted]病院より救急搬送された55歳の女性；病着 2:54

【主訴】 喉の奥から胸部・背部への突き抜けるような痛み

【現病歴】

平成[redacted]年3月[redacted]午前00:00時頃から、突然、咽頭～胸部、背部にかけて突き抜けるような著明な痛みを自覚、呼吸ができなくなるような気がした。痛みの性状は、「千切れるような」痛み(本人曰く)。締め付け感ではない。

痛みががまんできず、家人にかかえられるようにして[redacted]病院を受診した。心電図施行されるも有意所見なく、ソセゴン1A、セルシン1A投与された(以前、数回、パニック障害のため胸痛で受診したことがあった)。

しかし、症状軽快なく、むしろ疼痛はひどくなり、著しい顔面冷汗が出現した。既往歴よりパニック障害も疑われたが、症状が非常に強いため、CT精査等まで含め、精査目的に救急車にて当院ERへ救急搬送となった。

【既往歴】

①めまい症

②高血圧(降圧剤内服中も内容は不明)

③パニック障害: [redacted]クリニックに受診歴あり。[redacted]病院へも呼吸困難感・胸部圧迫感などの症状を伴うパニック発作で受診歴あり。

④子宮後屈: 20代の頃に手術を受けた

⑤帝王切開: 2回

【内服薬】頭痛の時にバファリン、降圧剤(内容不明)

【アレルギー歴】

薬剤: なし 食物: なし 気管支喘息なし

【生活歴】

喫煙: 15本/日×35年 飲酒: なし

【家族歴】特記事項なし

Case B 現症・身体所見

【現症】

意識GCS (E4 V5 M6) RR 38/分(過呼吸状態)
BT 35.6°C、BP 146/76mmHg、HR 90/分、SpO2 99% (RA)

< 血圧左右差チェック >

右: 106/51mmHg

左: 136/66mmHg

《頭頸部》

眼瞼結膜貧血なし 眼球結膜黄染なし

頭頸部リンパ節触知せず

《胸部》

咽頭(の奥)～胸部、背部に著明な疼痛(自発痛)あり

呼吸音: no wheeze no crackle

心音: I (→) II (→) III (-) IV (-) no murmur

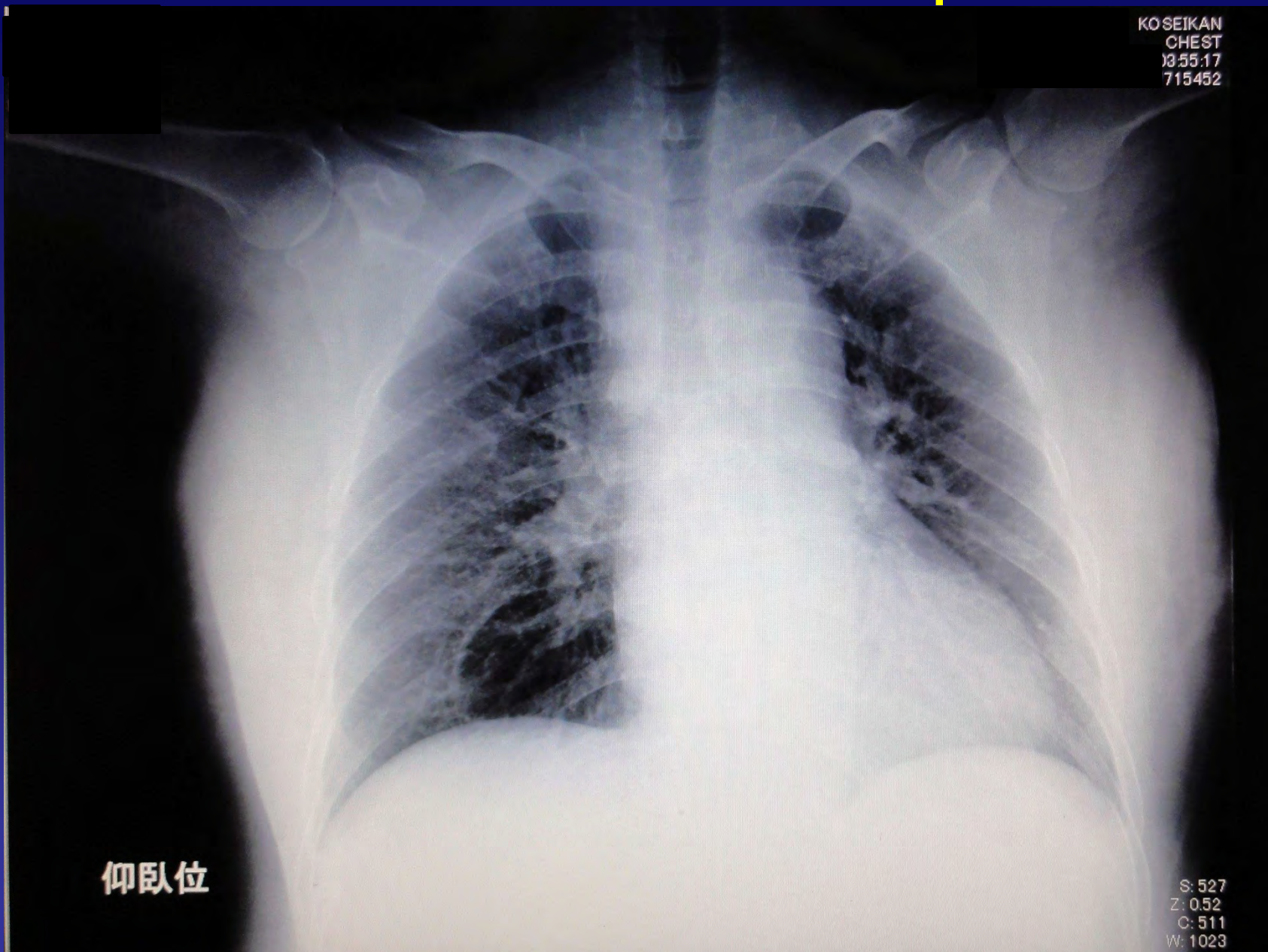
《腹部》

膨隆・軟 圧痛・自発痛なし 腸蠕動音正常

《四肢》浮腫なし 足背動脈触知良好

《神経学的所見》明らかな異常なし

Case B 胸部単純 X-p 所見



Case B 血液検査結果

		2017/05/11 08:33	2017/05/11 09:20	2017/05/14 07:33
01	AST(GOT)	19		
02	ALT(GPT)	18		
03	LD(LDH)	179		
04	ALP	357		
05	TP	6.9		
06	Alb	4.4		
07	A/G比	1.76		
08	γ-GT	44		
09	ChE	479 H		
10	AMY	46		
11	T-Bil	0.3		
12	CK	100		
13	BUN	16.3		
14	CRE	0.5		
15	Na/KCl	*****		
16	Na	144	R03	
17	K	2.8 L	R03	
18	Cl	109	R03	
19	Ca	9.3		
20	S-Glu	149 H		
21	CRP	0.06		
22	CBC	*****		
23	WBC	9.7 H		
24	RBC		4.33	
25	Hb		14.5	
26	Ht		40.4	
27	MCV		93.3	
28	MCH		33.5 H	
29	MCHC		35.9 H	
30	PLT		293	
31	血液像		*****	
32	Ne		47.0	
33	Ly		47.4	
34	Mo		4.2	
35	Eo		1.0	
36	Ba		0.4	
37	PT秒		10.4	至
38	PT%		117.9	至
39	PT比		0.92	至
40	PTINR		0.92	至
41	APTT秒		26.2	至
42	APTT%		106.3	至
43	APTTnorm		27.0	至
44	APTT・比		0.96	至

Case B

研修医の思考プロセス

<血液ガス> (静脈血)

pH:7.358, pCO₂:41.2mmHg, pO₂:25.5mmHg, HCO₃:22.6 mmol/L,
ABE:-2.2mmol/L,

Na:137mmol/L, K:3.6mmol/L, AnGap:4.1mmol/L, Ca:1.13mmol/L,

Glu:120mg/dL, Lac :48mg/dL

<心電図>

HR67bpm NS.R

<胸部レントゲン>

CTR:52% 血管影の増強あり

縦隔の拡大ははっきりせず

右下肺野にブラあり

<胸腹部造影CT>

【診断】

#1. [redacted]

[redacted] 方針で救命センター入院となる。

([redacted]) 救急科 Dr [redacted]